

文章講座 問題見本

文章講座

提出は前期 6 回・後期 6 回の合計 12 回（6 ヶ月）です。
テキストおよび課題のボリュームは、毎回、A4 で 5 ～ 6 枚。
課題は全てスペイン語作文です。

- ・この湖の水はいつもきれいだ。
- ・マリアは神経質になっている。
- ・通りの突きあたりに大きな噴水があります。
- ・子供たちは保育園にいます。

（1 期第 2 回より。学習項目：ser, estar, hay）

熱があつて頭が痛いので医者に行きます。冷蔵庫の中にハムのサンドイッチがあるから食べなさい。おばあちゃんに電話をしてあげてね、あなたと話したがついていたから。ママは夕方、パパと一緒に帰ります。ではね。（1 期第 3 回 総合問題より。学習項目：命令形 人称代名詞）

橋をわたって一つ目の交差点を左に曲がってください。二つ目の通りを右に折れたらすぐ右手に緑のランプが見え、そこが駐車場です。奥にエレベーターがありますから、受付のある 3 階まで昇ってください。（2 期第 6 回 総合問題より）

文章講座

提出は前期 6 回・後期 6 回の合計 12 回（6 ヶ月）です。
テキストおよび課題のボリュームは、毎回、A4 で 5 ～ 6 枚。
課題は全てスペイン語作文です。

- ・私には英語のできる秘書はいるのですが、今、英語とスペイン語ができる男性秘書を探しています。
- ・マリアが着いたら、すぐに君に知らせるよ。
- ・私は彼に、マリアが着いたらすぐに知らせる、と言った。

（1 期第 3 回課題より。学習項目：形容詞節の接続法、接続法の過去）

- ・僕を助けるためならできるだけことはする、と彼は手紙に書いてきた。
- ・申し訳ありません。先日あなたに、1 週間でこの仕事を終わっているでしょうと申し上げましたが、まだできていないんです。
- ・あなたなら何と言って彼を慰めるんでしょうね。（2 期第 1 回より。学習項目：過去未来、過去未来完了）

一つの外国語をマスターするのは、多くの頂きをもつ山を制覇するようなものだ。一つの頂きを制覇すると、他の頂きが前にたちはだかる。だから最高峰にたどり着けるのかと疑いたくなるときもある。しかし語学の習得で最も大事なことは、考えていることを表現し、他の人々とコミュニケーションをすることだ。こうした見方からすれば、そんなに完全主義者になる必要はない。むしろ周りにあるもの、つまり語学で言えば、学んでいる国の言葉の文化風習を楽しみながら歩むのがよい。（2 期第 6 回 総合問題）